授業科目　生理学実習Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学（後半）・言語
薗田　一郎、川上　心也	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	◎

【概要】

本科目では、「感覚機能、運動機能、心臓･循環機能、呼吸機能、消化機能」について実験的に学ぶ。基礎資料（教科書と生理学サイト、下記）からの情報収集、自分自身や友達を対象とした実験、そして採取したデータの適切な取りまとめを通して生体機能の理解を深める。

【学習目標】

１．本学の「生理学サイト（http://www.nuhw.ac.jp/~physiol/）」にアクセスし、実習資料を入手できる
２．入手した実習資料を基に、実習遂行に必要な知識を整理できる（必要に応じて、図書館などで参考図書に当たり、資料を適宜加工できる）
３．実習に参加して、学習項目に関する有効なデータを採取できる
４．採取したデータを基に実験結果をまとめ、その生理学的な意味を考察できる
５．まとめたデータへの検討を通して、自分や友達の結果・考察に対してコメントできる

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	実習ガイダンス		実習、担当：薗田　一郎　他
2	実習ガイダンス		実習、担当：薗田　一郎　他
3	実習ガイダンス		実習、担当：薗田　一郎　他
4	体性感覚：表面感覚、二点弁別閾値の測定　　呼吸機能：肺活量、１秒率の測定		実習、担当：薗田　一郎　他
5	体性感覚：表面感覚、二点弁別閾値の測定　　呼吸機能：肺活量、１秒率の測定		実習、担当：薗田　一郎　他
6	体性感覚：表面感覚、二点弁別閾値の測定　　呼吸機能：肺活量、１秒率の測定		実習、担当：薗田　一郎　他
7	体性感覚：表面感覚、皮膚感覚点の検索　　体性感覚：深部感覚、重量弁別の実験		実習、担当：薗田　一郎　他
8	体性感覚：表面感覚、皮膚感覚点の検索　　体性感覚：深部感覚、重量弁別の実験		実習、担当：薗田　一郎　他
9	体性感覚：表面感覚、皮膚感覚点の検索　　体性感覚：深部感覚、重量弁別の実験		実習、担当：薗田　一郎　他
10	運動機能：表面筋電図（EMG）の記録　　消化機能：唾液分泌量の測定		実習、担当：薗田　一郎　他
11	運動機能：表面筋電図（EMG）の記録　　消化機能：唾液分泌量の測定		実習、担当：薗田　一郎　他
12	運動機能：表面筋電図（EMG）の記録　　消化機能：唾液分泌量の測定		実習、担当：薗田　一郎　他
13	循環機能：血圧の測定　　循環機能：心電図（ECG）の記録・解析		実習、担当：薗田　一郎　他
14	循環機能：血圧の測定　　循環機能：心電図（ECG）の記録・解析		実習、担当：薗田　一郎　他
15	循環機能：血圧の測定　　循環機能：心電図（ECG）の記録・解析		実習、担当：薗田　一郎　他

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	生理学テキスト（第６版）	大地　陸男	文光堂	2010・4,800 円＋税
参考書				
その他の資料	「生理学サイト」（http://www.nuhw.ac.jp/~physiol/）			

【評価方法】

成績は「出席」、「課題要旨」ならびに「期末試験」の合計点で評価する（とくに「課題要旨」を重視する）。

【履修上の留意点】

実習室ならびに実習用具の制約から、上記の「授業計画」にある項目順序が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。
なお、客観性と公平性の確保が困難な「実習態度」は評価の対象としないが、明らかに他人の迷惑となっている場合には、退室を求めることがある。